

祝祭日には国旗を掲揚しましょう

敬神尊皇 黎



明報恩感謝

監修/日刊ひぐらし 〒151-0071東京都渋谷区本町1-30-18-107 http://www.higurashi.net/ 第0051号
護國青年會議機関紙 http://www.gokoku.net/ 発行人/山本修三 編集人/戸出蒼流 平成20年8月3日

近隣諸国条項を撤廃し、子供達に誇りと希望を！

土下座謝罪外交が残した禍根

我が国が中学新学習指導要領解説書で竹島の領有権明記を検討していたことに對し、七月に入つて柳明桓韓国外交通商相は高村正彦外相に「深刻な憂慮」を伝えてきた。結局日本政府は「我が国と韓国

ならぬのは「近隣諸国条項」の存在である。そして、この条項の撤廃のきつかけとなつた宮澤談話と教育主権の喪失

宮澤談話と教育主権の喪失

朝日新聞が意図的に行つた誤報に倣い、日本の新聞各社は昭和五十六年度の検定において高次級の教科書で日華事変における華北への「侵略」

一九八二年(昭和五十七年)朝日新聞が意図的に行つた誤報に倣い、日本の新聞各社は昭和五十六年度の検定において高次級の教科書で日華事変における華北への「侵略」

が「侵略」に書き換えられたと一斉に報じた。後に誤報であつたことが判明してからも産経新聞を除いて、朝日や毎日

は「侵略」に書き換えられたと一斉に報じた。後に誤報であつたことが判明してからも産経新聞を除いて、朝日や毎日

は「侵略」に書き換えられたと一斉に報じた。後に誤報であつたことが判明してからも産経新聞を除いて、朝日や毎日

は「侵略」に書き換えられたと一斉に報じた。後に誤報であつたことが判明してからも産経新聞を除いて、朝日や毎日

は「侵略」に書き換えられたと一斉に報じた。後に誤報であつたことが判明してからも産経新聞を除いて、朝日や毎日

は「侵略」に書き換えられたと一斉に報じた。後に誤報であつたことが判明してからも産経新聞を除いて、朝日や毎日



故宮澤喜一元首相



狂乱する朝鮮人

け、政府の責任において是正する」という愚かな談話を発表したのである。その結果、宮澤談話の趣旨にしたがい、日本の教科書検定に「近隣のアジア諸国との近現代の歴史的事項の扱いに、国際理解と国際協調の見地から、必要な配慮がされていること」という規定が付け加えられた。これが「近隣諸国条項」と呼ばれているものであり、近隣諸国とは支那と南北朝鮮であることは言うまでもないことである。

日本の学校教科書を検定するにあたり、どうして支那や

露呈した朝鮮人の民度

冒頭で述べたとおり、日本が竹島の領有権を明記しようとしたところ南朝鮮側は、駐日大使を帰国させるなど抗議の姿勢をあらさまにしたが、ここまででは予想通りの展開であつた。ところが朝鮮人の発狂ぶりは、およそ人間のものとは思えない悼しいものであつた。ソウルの日本大使館に

南朝鮮に配慮する必要があるのか。支那や南朝鮮が日本のように近隣諸国へ配慮しているのならいざ知らず、愚民国家の教科書は、ありとあらゆる分野で、日本から受けた大恩は封印して、恨みや憎しみだけを教え込んでいるのが現実ではないか。このような反日国家とは正常な関係など構築できるはずがないのに友好という名の幻想を追いかけて馬鹿げた談話を発表した宮澤は、歴史教育に関する教育主権を支那と南朝鮮に売り渡した売国奴であると言つても過言ではない。

朝鮮人の民度の低さは、今に始まつたことではなく最早世界の常識となつてはいるが、これ程のキチガイがいるとは思わなかつた。狂人集団の狂つた行動はこれだけに留まらず、さらにエスカレートし、

畏れ多くも天皇陛下の御真影を焼くという暴挙にでたのである。こうまでされても日本政府は「見ざる、言わざる、聞かざる」で「知らぬ顔の半兵衛」を決め込んでいる。首相も外相も政府の要人は誰一人として、陛下を愚弄された日本国民の怒りを代弁しようとしなさい。それどころか外相の高村正彦は「それぞれ立場が違うわけだから、冷静に話し合って、その立場を理解することが必要だ」と寝惚けたことを言っている。高村は狂人相手に冷静に話し合っただけで解決すると思っただけだ。朝鮮人相手の友好が偽善であり幻想であることが、まだ分からないようだ。このような肩政治家に翻弄される日本国と日本国民の運命は、まさに風前の灯と言えるだろう。こうしている間にも南朝鮮は竹島の実効支配を強め政府やマスコミは挙って「独島は韓国の領土だ」と喧伝して既成事実を作ろうと躍起になっている。

このような南朝鮮側の対応と比較すると日本政府はいかにも手緩い。イギリスのサッチャー元首相は、それまでの自虐的な英国史を見直し、アールゼンチンとのホークランド紛争では「領土問題は一ミリも妥協しない」と敢然と主張し、英国国民の絶大な支持を得

て、その地位を確固たるものにしたことがある。

直ちに廃棄せよ近隣諸国条項

日本の政治家にサッチャーの爪の垢でも煎じて飲め、と言ったところで素直に「ハイ」とは言わないだろうか少しは見習って欲しいものだ。

他国の教科書に何が書かれていようと、干渉しないのが世界の常識である。近隣諸国から干渉を受け、自国の教科書の内容を変える我が国の教科書検定は世界の常識から著しく逸脱している。

そもそも何が史実なのかということは、科学的な議論によつて決めることであり、近隣諸国に対する配慮によつて決定されるべきものではない。教科書検定の時期になると、支那と南朝鮮は口を揃えて日本を批判するが、朝鮮戦争について両国の認識は一致しているのか、この点について支那と南朝鮮は何故お互いを批判しないのか。ベトナム戦争についても然りである。その全てが日本政府の弱腰土下座外交と近隣諸国条項に起因する。将来を担う子や孫に「誇りと希望」を与えることは国会議員の重大な責務の一つであると考え、日本政府は直ちに近隣諸国条項を撤廃し、子どもたちに「誇りと希望」を与えるよう努めるべきだ。

編集人・戸出蒼流

竹島は日本固有の領土である

竹島が歴史的事実には照らしても、かつ国際法上からも日本固有の領土であることは明白だ。しかし、一九五二年一月十八日、悪名高い「李承晩ライン」が引かれ、竹島が南朝鮮に不法に占領されてから五十六年が経過した。南朝鮮はこの間、愚民どもに竹島は南朝鮮の領土であると繰り返し歴史を捏造して歴史教育を行ってきた。七月三十日、米政府は竹島の帰属先を「主権未指定」とした措置を撤回し、再び帰属先を南朝鮮に戻した。これに対し日本政府は、特別なアクシヨンも抗議もしない得意の事なかれ主義に徹している。事態がここまで来ると、もう取り返しがつかない状況になってしまったような気がしてならない。

竹島を守り、日本の主権を守ろう！



このままの状態が続けば、南朝鮮が不法占拠していることが正常であるかのように世界の国々から誤解されてしまう危険性が濃厚となつてしまふ。竹島が南朝鮮領土であるが如くに誤解され、E.E.Zも南朝鮮の主張が受け入れられてしまつたら、近隣地域の漁業に深刻な打撃を与えるだけでなく、日本国の権威が疑われ、日本人自身の軟弱さと愛国心の欠如が問われることとなり、周辺諸国から益々侮られることとなつてしまふ。

日本は、この半世紀の間、平和国家を標榜して弱腰土下座外交を行ってきた。その為、「日本に対してどんな非道なことをやっても、おとなしく引きさがる」という感覚が近隣諸国に定着してしまつた。敢えて俗っぽい言い方をすれば「チャンコロやチョンに舐められ放し」だつた。何よりも大事なことは自分の国は自分で守るといふ気概を国民の一人一人が持つことだ。

編集人

どうなる福田改造内閣 国民の憂鬱と眠れぬ夜は続く...

福田改造内閣の顔ぶれが決まつた。予想されたこととはいえ派閥均衡内閣で、サブライズは無く、まったく新鮮味に欠ける顔ぶれとなつた。党内事で麻生太郎が幹事長に就任したことが驚きと言えは多少は驚きだが、麻生はどうしていつ沈むか分からない泥舟に乗つたのだろうか、火中の栗を拾つたと言えは聞こえはいいが、巷間噂される密約があつたとしか思えない。選挙対策委員長に利権大王・古賀誠が留任したことで、麻生との鞘当てを危ぶむ声もあるが、麻生が如何に存在感を示すことができるか大いに期待したい。

内閣に目を向ければ、辞めて欲しい者が留任や入閣し、逆にそうでない大臣が閣外に去つて行つた。前者の例をあげれば、高村正彦外相、二階俊博経産相、谷垣禎一外交相、太田誠一農水相などいづれ劣らぬ反日売国議員が名を連ねている。就任時に大風呂敷を広げたが、結局ろくなことが出来なかつた舛添要一厚労相も、個人的には辞めて欲しかった大臣の一人である。

後者の筆頭は、ミッチーの息子こと渡辺喜美行革相である。本気で行革をやる気がない福田ポン助や町村官房長官の下で、手枷足枷せをはめられて武器も無く丸腰で官僚支配に立ち向かつた姿勢は何人にも代え難いものがある。渡辺喜美のように、若いのが骨ある人材を排除して、老醜を晒す反日売国議員を重用した内閣に何を期待するというのか、国民の憂鬱と眠れぬ夜は続く...

編集人・戸出蒼流